

■ 堺市と関西大学との地域連携事業 ■

関西大学総合情報学部の学生が
メディアアート作品や空撮映像などで堺の魅力を発信
～ 堺市立町家歴史館 山口家住宅で「AMD展2016」を開催 ～

関西大学総合情報学部では、同学部の学生約30名が中心となり、3月5日（土）・6日（日）の2日間、堺市立町家歴史館 山口家住宅で「Art Media Design展（AMD展）2016」を開催します。

昨年に続き2回目となる今回は「情景にふれあうメディア空間」をテーマに、大仙公園上空から全方位カメラで撮影した映像作品「体感空撮映像 ～空から見る仁徳天皇陵～」、堺の一日をタイムラプス撮影により1分間に凝縮する「Time lapse in Sakai」、町の趣を感じさせる物と音を集め、物から音を聴く作品「まちのささやき」、来場者に反応して声をかけたり、手を振って見送ったりしてくれる「童子ロボット」など、町家空間に融和する映像作品とメディアアート作品を通して、時を超えて今に続く堺の歴史と文化を体感いただくことができます。

山口家住宅は、江戸時代初期に建てられた町家で、国の重要文化財にも指定されている貴重な建造物です。本イベントでは、堺市の協力の下、山口家住宅をはじめとする堺市の魅力を発信することを目的に、本学学生とその指導にあたっているアーティストが作品の制作・展示を行います。

記

- 1 日 時 3月5日（土）・6日（日）10：00～17：00（入館は16：30まで）
- 2 場 所 堺市立町家歴史館 山口家住宅
堺市堺区錦之町東1丁2-31
（阪堺電気軌道阪堺線「綾ノ町」停留場下車、徒歩3分）
- 3 内 容 「情景にふれあうメディア空間」をテーマに、「Time lapse in Sakai」、「体感空撮映像～空から見る仁徳天皇陵～」などの映像作品、「まちのささやき」「童子ロボット」といったデジタルメディア作品を展示。町家空間に融和する展示作品を通して、山口家住宅と堺市の魅力を発信します。
- 4 備 考 展示会は無料ですが、山口家住宅への入館料が別途必要です。
入館料：200円、20名以上の団体は一人160円
（中学生以下、65歳以上の方、障がいのある方は無料）

以 上

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266
www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。



■ 堺市と関西大学との地域連携事業「Art Media Design 展 2016」開催概要

- 目的 学生とその指導にあたっているアーティストが制作した映像作品とデジタルメディア作品を展示し、それらが昔ながらの町家の空間に融和し、懐かしくも新しい空間を体感いただくことで、山口家住宅ならびに堺市の魅力を発信します。
- 実施者 総合情報学部の専任教員 5 名、学生約 30 名、外部アーティスト 1 名（協力：堺市）
- 開催日時 3月5日（土）・6日（日）10：00～17：00（入館は16：30まで）
- 場所 堺市立町家歴史館 山口家住宅
堺市堺区錦之町東1丁2-31
（阪堺電気軌道阪堺線「綾ノ町」停留場下車、徒歩3分）

○主な展示作品

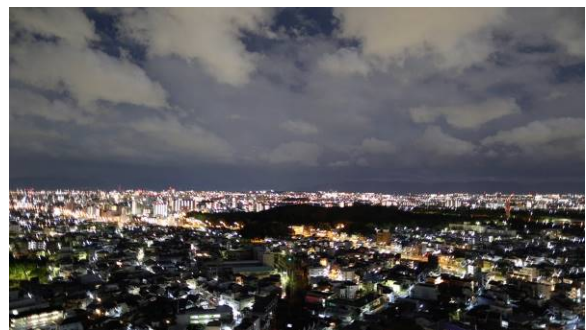
■ 体感空撮映像 ～空から見る仁徳天皇陵～

日本最大の仁徳天皇陵古墳を、全方位カメラを搭載した無人航空機（ドローン）で上空 140m から撮影した映像作品です。ただ映像を見るだけでなく、鑑賞者の動作によって視点を変化させ、大仙公園上空から堺市内を一望することもできます。今回初公開となる体感空撮映像をぜひお楽しみください。



■ Time lapse in Sakai

堺の一日を市役所高層館の最上階から定点撮影した作品です。一定間隔で撮影された写真を連続再生するタイムラプスという手法を用いた映像作品で、堺市の 24 時間を 1 分間に凝縮しています。雲の流れ、車や電車の動き、昼から夜へと移り変わる街の表情から、躍動する街の美しさを感じ取ってください。



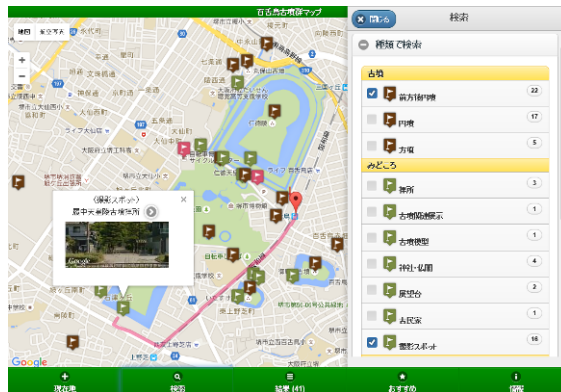
■ 時を超えた環濠都市堺の遊覧飛行

堺環濠都市地区は大坂夏の陣で全焼した後、元和の町割によって再興し、その町割が今に受け継がれています。この作品は、江戸時代と現在の街並をコンピュータグラフィックス（CG）で再現しています。街を空から眺めるような映像作品から、由緒ある街路のもつ意義を感じていただければと思います。



■ デジタル古地図で見る堺+古墳群マップアプリ

関西大学所蔵の「堺大繪圖改正綱目」(1735年)ほか江戸中期から明治後期までの堺環濠都市地区の古地図をデジタル化し、現在の地図と比較できるアプリを制作。今に残る元和の町割に垣間見える時代の変遷をご覧ください。また、古地図にも一部記載されている百舌鳥古墳群を紹介するマップアプリも公開。



■ 山口家住宅秘伝書

山口家住宅には江戸初期の町家ならではの工法やしつらえなど、たくさんの魅力が隠されています。この作品は、屋内の位置測定技術（ビーコン）を使ったアプリで、タブレット端末（iPad）を持って山口家住宅内を見学していると、近くの見どころに端末が反応して、そのポイントを教えてくれます。



■ まちのささやき

堺七まちを中心に町の趣を感じさせる物と音を集め、物から音を聴く作品を制作しました。お茶を点てる音、鉄を打つ音、またそれらに含まれる生活音。普段、気に留めることなく過ごしている音の中に、懐かしい思い出が潜んでいるかもしれません。あなたの心に響く町のささやきを探しに来てください。



■ 童子ロボット

昨年の老夫婦型ロボットに続いて、今年は童子ロボットを出展します。鑑賞者が童子ロボットに近付くとその顔を見て反応し、その場から離れていくと手を振って見送ってくれます。ゆるやかに流れる時間の中で、山口家住宅の空間に融和する童子ロボットがあなたの来訪をお待ちしています。

【参考】昨年の老夫婦型ロボット



◆特設サイト「堺町家物語」

昨年のAMD展2015 開催に合わせて公開された山口家住宅の魅力を伝える特設サイト。山口家住宅の内部だけでなく、天王寺駅から現地までの路面電車（阪堺電車）沿線を紹介する映像コンテンツも織り込まれ、地域を俯瞰する視点で山口家住宅の魅力を発信します。今年度のAMD展2016についても、この特設サイトに開催案内と作品紹介が順次掲載される予定。

・堺町家物語のアドレス <http://www.hz.kutc.kansai-u.ac.jp/city.sakai/machiya/>



◆重要文化財「山口家住宅」

国内でも数少ない江戸時代初期に建築された町家。昭和41年(1966年)に国の重要文化財に指定。江戸時代においては、近隣農家の庄屋を務め、奉行所と町方、村方をつなぐ役割を担っていました。



◆メディアアート

20世紀中盤より広く知られるようになった、芸術表現に新しい技術的発明を利用する、もしくは新たな技術的発明によって生み出される芸術。特に、ビデオやコンピュータ技術をはじめとする新技術に触発され生まれた美術であり、またこういった新技術の使用を積極的に志向しています。